

# 読書のすゝめ

その10 H 29 6 / 1

## 第42回 春季弁論大会

5月28日 会場・水海道一高

3年生3名が弁論大会に参加してきました。

- ☆齋藤亮太さん . . . 優秀賞  
『減りゆく子どもたち く田舎の消滅を阻止するために』
- ☆島あすかさん . . . 優良賞  
『人工知能と人の未来』
- ☆谷田川沙希さん . . . 奨励賞  
『不如意 私の決断』

平日頃考えていること（疑問に思っていることなど）について自分なりにテーマ設定し、論としてまとめて書く。そして、6分以上7分以内という時間の制限の中で人前で話す. . . 大変な労力です。

今回出場した3名は、当然のことながら原稿を見ることなく、声の抑揚や間の取り方も工夫して、会場内の人たちに自分の考えを訴えてきました。頭の中であれこれ思っても、いざ文章に書き起こすと思うように書けませんし、大勢の人の前で話す、伝えるということは度胸も必要です。結果はそれぞれでしたが、大変貴重ですばらしい経験を積むことができたと思います。

考えをまとめて「書く」こと、人に「話す」（伝える）ことは、これから生涯にわたって必要な作業です。さしあたり、3年次生は就職や推薦入試での作文や面接、小論文などで準備をしておかなければなりません。書く、話すにも「根拠」が求められます。多くの資料（本）を読んで考えをまとめておきましょう。



- 『大学生からの文章表現』黒田龍之介（ちくま新書）
- 『書く力』池上彰・竹内政明（朝日新聞出版）
- 『大学一年生の文章作法』山本幸司（岩波書店）
- 『口のきき方』梶原しげる（新潮社）
- 『ザ・デイベート』茂木秀昭（ちくま新書）
- 『小論文の基本テクニック』寺川潔（学研教育みらい）
- 『最強！』の書く技術』出口汪（水王舎）
- 『朝日キーワード2018』朝日新聞出版



※ 6月12日まで購入希望図書を受け付けています！

年間を通して受け付けていますが、この機会に図書館で買ってもらいたい本を、教室掲示の用紙に書いてください。漫画・雑誌は不可。文庫本はできれば個人購入でお願いします。

